

令和3年度 第55回釧路地区中学校体育大会アイスホッケー大会 第52回北海道中学校体育大会アイスホッケー大会予選会

- 1 主 催 釧路地区中学校体育連盟
- 2 主 管 釧路アイスホッケー連盟
釧路地区中学校体育連盟アイスホッケー専門委員会
- 3 会 期 令和3年11月10日(水)、11日(木)、13日(土)、14日(日)
開会式：令和3年11月10日(水) 19時30分予定(市長杯小学生の部終了後)
閉会式：令和3年11月14日(日) 大会終了後試合終了後、氷上にて実施
- 4 会 場 ひがし北海道クレインズアイスアリーナ
- 5 大会日程 タイムテーブル参照
- 6 参加資格

- (1) 釧路地区中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長が出場を認めた生徒とする。
- (2) 年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、事前に釧路地区中学校体育連盟事務局に問い合わせること。
- (4) 参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の校長・教員・部活動指導員とする。
- (5) 外部指導者(コーチ)は、当該学校の校長が認めた者で、釧路地区中学校体育連盟に登録された者とする。
- (6) チームは単一学校の生徒で編成されたものであること。ただし、地区中体連会長が認めた合同チームはその限りではない。複数合同チームの引率・監督は出場校の校長または教員があたるものとする。但し、やむを得ない場合は代表監督・引率を認める。
- (7) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報取り扱いについて了承するものとする。
- (8) 監督・引率者は、部活動の指導中の暴力等により、任命権者又は学校の設置者から懲戒処分を受けていないものであること。外部指導者は校長から暴力等による指導措置がないこと。

7 大会規定

大会要項に記載のない内容は、IIHF国際競技規則に基づく。

8 競技方法

- (1) 4チーム総当たりによるリーグ戦を実施し、優勝、準優勝及び第3位を決定する。
- (2) 試合時間は、各ピリオド正味20分間とし、インターバルは10分間とする。
- (3) ペナルティは、マイナー2分間、メジャー5分間とする。
- (4) ホームチームは仮ホームチーム(オフィシャルボックスから見て左側)がパックスの優先選択で決定する。
- (5) 第3ピリオド終了時に同点の場合は、3分間のインターバル後、第3ピリオドからサイドを変えず3on3でのサドンデス方式の延長戦(OT)を5分間行う。
延長戦は、第3ピリオドの延長と考え、ペナルティは継続する。
延長戦で勝敗が決しない場合は、ペナルティ継続中の者を除く両チーム5名ずつによるペナルティショットシュートアウト(PSS)を行う。
なお勝敗が決しない場合は、先に行った5名を含めた両チーム1名ずつのサドンデス方式のペナルティショットシュートアウト(PSS)を行う。
- (6) 順位の決定方法は、以下の手順によって順位を決定する。
 - ① 勝ち点の合計で、順位を決定する。
(60分勝ち=3点 OT、PSS勝ち=2点 OT、PSS負け=1点 60分負け=0点)
 - ② 勝ち点の合計が同点の場合、当該チーム間の対戦成績で、順位を決定する。
 - ③ 当該チームの全試合の総得失点差が最大のチームを最上位とする。

- ④ 当該チームの全試合の総得点が最大のチームを最上位とする。
- ⑤ 当該チームで抽選を行い、順位を決定する。

9 申し合わせ事項

- (1) ベンチ入りの選手は、22名をこえても良い(GKが3名以上も認める)。
- (2) ベンチ入りの選手は、すべてフェイスマスク付きヘルメットの着用を義務化する。
- (3) ベンチ入りの選手は、すべてマウスピースの着用を義務化する(矯正中も含む)。
- (4) ベンチ入りの外部指導者は、中体連事務局に登録しているものに限る。

10 留意事項

- (1) メンバー表は、試合開始30分前までにオフィシャルボックスに提出する。
- (2) 整氷は、試合前の練習後及び各ピリオド終了後に行う。
- (3) 試合開始前の練習時間は10分間とする。
- (4) 参加チームは、セカンドユニフォームを用意する。それでも、両チームのユニフォームが同色の場合、仮ホームチームがベスト(釧路アイスホッケー連盟より借用)を着用する。
- (5) 開会式は、基本的に全選手参加とする。
- (6) 閉会式は、全チームで、最終戦の終了後直ちに行う。
- (7) 個人情報の取り扱いについて
 - ① 大会参加者の氏名、所属中学校名、学年は、プログラムや掲示板、ホームページ掲載のために使用する。
 - ② 各チームの大会成績および写真は、ホームページ掲載のために使用する。
- (8) 通信機器の使用を可能とするが、以下の条件に当てはまるチームのみとする(全道大会も可)。
 - ① 日頃の実技指導を教師が行っているが、その教師が所属する学校には選手が不在なため、ベンチ入りできないチーム。→ 今年度は釧路Aが該当
 - ② 通信機器の用途は、指示内容の伝達とする。

11 その他

- (1) 大会期間中の各報道機関への結果報告は、釧路アイスホッケー連盟より行われる。
(釧路新聞0154-22-8021 北海道新聞0154-31-2717 FM釧路0154-47-0111)
- (2) 閉会式終了後、監督会議をアイスアリーナ内の会議室で行う。
 - ① 全道大会参加申し込みについて。
 - (ア) 全道大会の申し込み締め切りまで期間がありません。
 - (イ) 地区大会開始までに申し込み用紙に入力を済ませておき、出場が決まり次第、事務局にメールで送信する。
 - (ウ) 後日、印をもらった用紙を事務局に郵送する。
 - ② 新人戦(日専連杯、道ア連会長杯)について 他
- (3) 全道大会(札幌市 令和3年12月4日(土)～6日(月)の釧路地区代表は上位3チームとする)。

12 各チーム指導事項

- (1) 開閉会式は、迅速な行動に努め、中学生らしい態度で臨むよう指導する。
- (2) 控え室及び会場内外の施設は、整頓し大切に使用すること。
- (3) 控え室の暖房は専門委員会が管理するので、勝手に操作しないこと。
- (4) 選手、選手専用出入口(裏側)を使用すること。
- (5) 会場内(リンクサイド及びスタンド周辺)でのアップは基本的に禁止となっているが、荒天時の対応について事前に会場側と打合せを行い、許可が得られた場合には入口ホール付近や控え室前廊下でのアップを可とする(ルール、マナー厳守)。

13 新型コロナウイルス感染症にかかわる事項について

- (1) 別紙を参照